



20世紀から21世紀へ。 隣接する地の利を活かし

自然環境の豊かさと首都東京に 更なる成長を遂げ、次の50年へ

平成

1993 (平成5)年

千葉そごう新店舗(京成千葉駅横)が開店

Jリーグ開幕

谷津干潟がラムサール条約登録湿地に認定

屋内人工スキー場SSAWS(ザウス)(船橋市)開業(2002年に閉園)

第1回成田空港問題円卓会議開催

冷害により本県農作物に甚大な被害があり、
水稲が大凶作となる

1994 (平成6)年

外国米の流通が始まる(アメリカ米・タイ米)

国分川分水路完成

県立現代産業科学館開館

県が非核平和都市宣言

かずさDNA研究所開所

柏レイソルのJリーグ昇格が決定

県が窒素酸化物(Nox)の高濃度地域を対象とした局地的な大気汚染調査を全国で初めて開始

1994 (平成6)年

かずさDNA研究所が開所



かずさアカデミアパークの先導的・中核的施設である「かずさDNA研究所」 / かずさDNA研究所

かずさDNA研究所は、世界初のDNAを専門に研究する施設として1994(平成6)年に開所した。以来、シロイヌナズナをはじめとする植物や微生物など70種類以上のゲノム情報を解読する等、数多くの世界的な成果をあげてきた。また、希少難病の遺伝学的検査など、医療、農業、環境といった幅広い応用分野で社会に貢献している。

2024(令和6)年に開所から30年を迎え、更なるステップアップを目指して基礎研究や教育支援の強化に取り組んでいる。新たに立ち上げた「シーズ開拓研究室」では、子どものアレルギー疾患の予防や藻類を利用した物質生産など、近い将来に社会需要が高まることが期待される分野の研究開発を開始した。さらに、千葉県や日本の未来を担う中高生への理科教育の支援に力を注いでいる。



高速に大量のDNA配列を解読できる次世代シーケンサー / かずさDNA研究所

1993 (平成5)年

谷津干潟が国内初「ラムサール条約登録湿地」に認定



谷津干潟 / 谷津干潟自然観察センター

1993(平成5)年、谷津干潟が国内の干潟で初めて、国際的に重要な湿地である「ラムサール条約登録湿地」に登録された。谷津干潟は東京湾の最奥部に位置する約40haの干潟で、水鳥、ゴカイ、貝、カニ、プランクトン等たくさんの生き物が潮の満ち引きに合わせて暮らし、国指定鳥獣保護区にも指定されている。水鳥の餌となるゴカイやカニなどが多く生息することから、四季を通して多くの野鳥が見られ、1年間に周辺で確認される野鳥の種類は110種以上にも上る。特に、シベリアなどの北の国と東南アジアやオーストラリアなどの南の国を行き来する渡り鳥であるシギ・チドリ類にとっては、渡りの途中の栄養補給と休息をとるための中継地としても重要な役割を果たしている。

千葉県の歴史コラム

サッカー王国千葉 プロアマ ともに千葉の実力を示す



1993(平成5)年Jリーグ開幕時 / ジェフユナイテッド市原(現 市原・千葉)

Jリーグや高校サッカー等で存在感を放つ千葉県は、「サッカー王国」との呼び声も高い。ジェフユナイテッド市原(現ジェフユナイテッド市原・千葉)は、1993(平成5)年のJリーグ開幕当初からリーグに参加。2005・2006(平成17・18)年にはJリーグヤマザキナビスコカップ(現JリーグYBCルヴァンカップ)の連覇を達成した。

1995(平成7)年よりJリーグに参加した柏レイソルは、2010(平成22)年にJ2で優勝しJ1に昇格すると、昇格初年度の翌2011(平成23)年にJ1を制し、Jリーグ史上初となるJ2・J1リーグ連続優勝を果たした。

高校サッカーでも、2008(平成20)年に行われた全国高等学校総合体育大会では、千葉県代表の市立船橋高校と流通経済大学附属柏高校の2校が決勝に進出。決勝戦は雷雨のため中止となったことで両校優勝となり、千葉県高校サッカーのレベルの高さを示す結果となった。

1995 (平成7)年

阪神・淡路大震災

千葉県環境基本条例及び千葉県環境保全条例の制定

県立関宿城博物館開館

1996 (平成8)年

千葉県庁本庁舎が完成

印西市誕生

県がインターネットのホームページを開設

県レベルでは全国初の千葉県少年少女オーケストラが結成

生涯学習センター・芸術文化センター・「さわやかちば県民プラザ」創設

香取市佐原の町並みが重要伝統的建造物群保存地区に選定

1997 (平成9)年

かずさアークが開業

県南総文化ホール(館山市)開館

幕張メッセで初の政府間国際会議として、ASEM(アジア欧州会合)経済閣僚会合を開催

幕張メッセ新展示場 オープン

東京湾アクアライン 開通

千葉大学工学部が全国で初導入の飛び入学試験を実施

銚子港の水揚げ量が全国1位となる

1998 (平成10)年

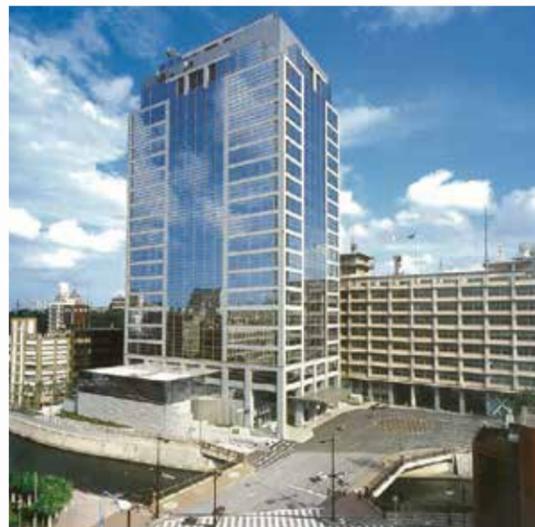
県循環器病センター開設

米の新品種「ふさおとめ」デビュー

レトルト落花生「郷の香」デビュー

1996
(平成8)年

県庁本庁舎が完成



県庁本庁舎 / 千葉県



県庁本庁舎落成式 / 千葉県

県行政機構の分散化の解消と行政サービスのより一層の向上を図るため、1993(平成5)年より建設を進めていた県庁本庁舎が、1996(平成8)年1月に完成した。設計を行った株式会社松田平田設計によると、現代的なガラスの外装を用いることで「未来に臨む千葉」を表現(同社ホームページより)。連絡通路により中庁舎、議会棟と結ばれており、1階には県民の文化交流の拠点にもなる県民ホールや美術品展示コーナー、19階には展望回廊、20階にはスカイレストランを構えている。同年2月23日に落成式を挙行し、翌24日からの3日間、県民への公開を実施。開庁式を同年4月1日に行い、同日から供用が開始された。

1997
(平成9)年

東京湾アクアライン開通



開通式 / 千葉県



アクアライン建設時 / 千葉県

1997(平成9)年12月18日、東京湾の中央部を横断し、木更津と対岸の川崎を結ぶ自動車専用の有料道路、東京湾アクアライン(一般国道409号)が開通した。4車線で総延長15.1km、木更津側から4.4kmが橋梁、川崎側から9.5kmがトンネルとなっている。総事業費約1兆4,400億円、調査に約20年・建設に約10年の月日を要し、「20世紀最後のビッグプロジェクト」とも呼ばれた。アクアラインの開通によって県の半島性が解消されるとともに、川崎―木更津間の走行距離・所要時間が短縮。アクアラインの着岸地周辺を中心に、観光需要の創出、企業進出・大型商業施設の出店につながるなど、地域の活性化に寄与している。さらに、災害時等に複数ルートの選択が可能になるなど、首都圏の高速道路ネットワークの機能強化を図る重要な役割を担っている。

1997
(平成9)年

「かずさアーク」が開業



かずさアカデミアパークのセンター施設である「かずさアーク」 / 千葉県

1997(平成9)年、千葉県が推進する「かずさアカデミアパーク構想」のセンター施設として、「かずさアーク」が木更津市にオープンした。正式名称は「かずさアカデミアセンター」。会議施設やホテル、スポーツクラブ等が一体となった施設で、国際会議や学術会議等のほか、音楽会等文化活動の場としての役割を果たすとともに、研究者や来訪者に対する都市的サービス等の提供をしている。

1995
(平成7)年

阪神・淡路大震災の被災地へ千葉から支援



ヘリコプターや消防隊の派遣など様々な支援を行った / 千葉市消防局

1995(平成7)年1月7日、阪神・淡路大震災が発生し、兵庫県南部を中心に戦後最悪の被害をもたらした。全国各地から被災地への支援が集まるなか、千葉県でも県を挙げて支援を実施。県内市町村等と協力し、ヘリコプターや消防隊・警察官を派遣したほか、毛布や防水シート等物的支援、給水活動、医療救護活動等の人的支援を行った。

1999 (平成11)年

県立中央博物館分館「海の博物館」(勝浦市)開館

鴨川市大山千枚田が日本の棚田百選に選定

幕張メッセ・幕張新都心10周年で通算来場者数が6000万人を超える

関東で初めての食の総合イベント「食メッセちば'99」開催

2000 (平成12)年

手賀沼の北千葉導水事業開始

東京湾アクアラインの通行料金が引き下げられ、交通量も3割増加

シドニーオリンピックで高橋尚子が女子マラソンで優勝(3人目の県民栄誉賞を受賞)

2001 (平成13)年

白井市誕生

堂本暁子 千葉県知事就任

東京ディズニーシー開園

2002 (平成14)年

富里市誕生

成田空港暫定平行滑走路(現B滑走路)供用開始

県人口600万人突破

矢那川ダム、片倉ダム供用開始

2003 (平成15)年

房州うちわが経済産業省の伝統的工芸品に県内で初めて指定

船橋市が県内初の中核市となる

第54回全国植樹祭の開催と天皇皇后両陛下の行幸啓

2004 (平成16)年

アテネオリンピック金メダルの室伏広治等が県民栄誉賞を受賞

小野川放水路完成

2005 (平成17)年

千葉ロッテマリーンズ、31年ぶりのリーグ優勝、日本一

いすみ市誕生

2003
(平成15)年

第54回全国植樹祭が千葉県で開催



第54回全国植樹祭式典にて撮影 / 千葉県

2003(平成15)年、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、「第54回全国植樹祭」がかずさアカデミアパーク(木更津市)及び千葉県立清和県民の森(君津市)にて開催。両陛下は、この御臨席を機にかずさDNA研究所(木更津市)、特別養護老人ホーム「風の村」(八街市)、東京湾アクアラインの海ほたるなどを御視察。九十九里浜の地曳網の御視察では、地元小学生と交流される場面もあった。

2001
(平成13)年

さまざまな浄化対策で手賀沼が汚濁日本一を返上



ワースト1返上が確実となった手賀沼(2002年撮影) / 朝日新聞社

環境省が発表する全国の湖沼水質ランキングで、27年間“湖沼水質汚濁日本一”が続いていた手賀沼だったが、2001(平成13)年度の測定結果でワースト1を返上することに成功した。下水道整備やヘドロの浚渫(沼外への取り出し)、利根川から取水した一部を浄化用水として手賀沼に引き込む「北千葉導水事業」等の取組により水質が改善。近年では、水質悪化時に姿を消した生物も少しずつ見られるようになってきている。

2005
(平成17)年

千葉ロッテマリーンズが日本一達成



千葉市での優勝パレード / 千葉県

2005(平成17)年の日本プロ野球で、千葉ロッテマリーンズがセ・パ交流戦優勝・パシフィックリーグ優勝・日本シリーズ優勝の3冠を獲得した。さらにアジアシリーズも制覇し、4冠を達成した。千葉市の中心市街地と幕張新都心では優勝パレードが行われ、沿道では約24万人が祝福。功績を称え、チームに対しては団体初となる県民栄誉賞、バレンタイン監督には外国人初となる知事特別賞が授与された。また、マリーンズは2010(平成22)年にもパシフィックリーグ3位からクライマックスシリーズ、日本シリーズを勝ち上がり、史上初となるリーグ3位からの日本一を達成した。



知事特別賞を受賞したバレンタイン監督 / 千葉県

千葉県の歴史コラム

江戸時代から続く「勝浦朝市」の歴史と勝浦漁港



勝浦朝市の様子 / 勝浦市観光協会

1591(天正19)年、漁師と農民が農水産物を交換する場として始まった「勝浦朝市」。現在の上本町、仲本町、下本町が中心地となり、江戸時代には「勝浦三町江戸勝り」と称されるほどの発展を見せていた。昭和30年代中頃から自動車交通の増加に伴い、仲本町通り限定で開催されていたが、1987(昭和62)年からは、開催日を分けて下本町通りでも行われるようになり、現在の形が確立されている。

朝市では、新鮮な野菜や果物、魚介類、種苗、日用雑貨等が並び、地元民や観光客にとって欠かせない場所となるとともに、近年では石川県の輪島や岐阜県の高山と並び日本三大朝市と評されている。特に勝浦漁港は外房漁業の拠点として知られ、カツオやマグロ、キンメダイ、カジキなどさまざまな海産物が水揚げされている。また、2024(令和6)年には高度衛生管理型荷さばき所の完成や、「勝浦釣り寒カジキ」が千葉ブランド水産物に認定されている。

2006 (平成18)年

米の新品種「ふさこがね」デビュー

ららぽーと柏の葉(柏市)が開業

匝瑳市、南房総市、香取市、山武市、横芝光町誕生

2007 (平成19)年

チーバくん誕生

大型観光キャンペーン「ちばデスティネーションキャンペーン・房総発見伝」の開催

大型ショッピングセンターのユニモちはら台(市原市)が開業

2008 (平成20)年

G8洞爺湖サミット向け「G20グリーンイグレス閣僚級対話」が本県で開催

高校サッカーインターハイで市立船橋高校・流通経済大学付属柏高校が両校優勝

2009 (平成21)年

新型インフルエンザの世界的な大流行

もりけんさく すずきえいじ
森田健作(本名:鈴木栄治)
千葉県知事就任

警察本部新庁舎の完成

東京湾アクアラインの普通車通行料金800円に引下げ

成田空港B滑走路の供用開始
(暫定滑走路2,180mを2,500mに延伸)

2010 (平成22)年

第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」・第10回全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」開催

千葉ロッテマリーンズ、5年ぶりの日本一

2011 (平成23)年

チーバくん 千葉県マスコットキャラクターに就任

2006
(平成18)年

平成の大合併により
80→54の市町村へ



南房総市開市式 / 南房総市

地方分権の進展や人口減少・少子高齢化等の社会経済情勢の変化を受け、市町村の行財政基盤強化や政策遂行力の向上を図るため、1999(平成11)年以来、「平成の大合併」と呼ばれる市町村合併が全国的に推進された。千葉県においても市町村合併が行われ、平成の大合併前の80市町村(33市42町5村)から、2009(平成21)年度末までに54市町村(36市17町1村)に再編された。

2009~
(平成21)年~

東京湾アクアラインの
通行料金引下げを実施



東京湾アクアライン / 千葉県

東京湾アクアライン開通から12年目となる2009(平成21)年8月1日、通行料金引き下げの社会実験がスタートした。ETC搭載普通車の場合、片道2,320円が800円へと引下げ。社会実験の結果、実験前の2008(平成20)年度と比べ、2013(平成25)年度は1.9倍に増加。観光の振興や企業立地の促進、物流の効率化が図られるなど、大きな経済効果をもたらした。2014(平成26)年度以降は、「アクアライン割引」として料金引下げが継続され、その後も交通量は増加傾向にある。

2010
(平成22)年

「ゆめ半島千葉国体」「ゆめ半島千葉大会」が開催



マリスタジアムで開会式 / 千葉県

2010(平成22)年、本県では37年ぶりの開催となる第65回国民体育大会(ゆめ半島千葉国体)と第10回全国障害者スポーツ大会(ゆめ半島千葉大会)が開催された。

千葉国体の開会式は千葉マリスタジアムで行われ、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、約3万3,000人の選手団と観客等が参加。式典前には約2,200人によるパフォーマンスやブルーインパールの飛行が披露されたほか、同年創立40周年を迎えた県警音楽隊がカラーガード隊「アクア・ウインズ」とともに国体旗を先導するなど、華やかな幕開けとなった。

千葉県勢は、国体で天皇杯(男女総合優勝)と皇后杯(女子総合優勝)を獲得する完全優勝を達成し、千葉大会でも史上最多となる290個のメダルを獲得するなど大活躍。両大会の選手団・観客動員数は国体が約70万人、千葉大会が約6万5,000人に達し、本県の魅力が広くアピールされることとなった。

千葉県の歴史コラム //

チーバくんが県マスコットキャラクターに就任



千葉県マスコットキャラクターチーバくん
(Chiba Prefecture Mascot CHI-BA+KUN)

2010(平成22)年9月25日~10月5日に開催された「ゆめ半島国体」、2010(平成22)年10月23日~10月25日に開催された「ゆめ半島千葉大会」のマスコットキャラクターとして2007(平成19)年1月11日に誕生。両大会の終了後も、多くの県民から「県のマスコットキャラクターとしてぜひ残してほしい」との声があり、2011(平成23)年1月11日より、正式に千葉県のマスコットキャラクターになった。

県内の学校施設への訪問や県内外のイベントでのPR活動などを通じて、「県民に愛されるマスコットキャラクター」として浸透している。全身が赤色(鼻は黒色)で、横からみた姿が千葉県の形をしているのが特徴。

チーバくんの作者:坂崎 千春(市川市出身/絵本作家・イラストレーター)

チーバくんのプロフィール

千葉県に住む不思議な生きもの。好奇心旺盛でいろいろなことに挑戦するのが大好き。未知のものに立ち向かうときほど勇気と情熱がわき、からださが赤く輝く。食いしん坊でいたずら好きな面も。

2011 (平成23)年

東日本大震災

「千葉県暴力団排除条例」の制定

野田内閣誕生

柏レイソル J1リーグ初優勝

2012 (平成24)年

三井アウトレットパーク木更津が開業

「ちばアクアラインマラソン」初開催

2013 (平成25)年

大網白里市誕生

酒々井プレミアム・アウトレットが開業

首都圏中央連絡自動車道の東金～木更津間
が開通

イオンモール幕張新都心が開業

2014 (平成26)年

房総を舞台とした映画「ふしぎな岬の物語」
が第38回モントリオール世界映画祭で2つ
の賞を受賞

全国初の「ヤード適正化条例」を制定

2015 (平成27)年

成田空港第3旅客ターミナルビル(LCC専用)
開業

日本サッカー協会と千葉県で基本協定締結、
日本代表の活動拠点が幕張新都心に

2012
(平成24)年

「ちばアクアライン マラソン」が初開催



スタート地点 / 千葉県



会場の様子 / 千葉県

2012(平成24)年、ちばアクアラインマラソンが初開催。東京湾アクアラインをコースに含んだ、海の上の高速道路を走る日本初のフルマラソンは、午前10時に約1万4,000人のランナーがスタート。参加者は、青い海と空が一面に広がるアクアラインの絶景や自然豊かな田園風景、特産品給食などの千葉の魅力が詰まったコースを楽しんだ。沿道には約31万人が集まり、熱い声援や応援幕、楽器の演奏などでランナーを迎えた。また、イベントエリアには、本県ならではの農林水産物や物産品、観光などを紹介するブースも設置。ボランティアや地域住民、スポンサーなど多くの関係者の方々に御支援と御協力をいただいた。

2011
(平成23)年

千葉県にも大きな被害を及ぼした東日本大震災



高洲中央公園のせり上がるマンホール / 千葉県



震災によって発生した火災の消火活動の様子(市原市内) / 千葉市消防局

3月11日14時46分頃、三陸沖でマグニチュード9.0の巨大地震が発生した。千葉県内では、最大震度6弱(成田市・印西市)を観測し、太平洋沿岸部に津波が押し寄せた。

県内では死者20名、行方不明者2名、負傷者251名という人的被害に加え、建物被害は約5万棟に上った。ライフラインの寸断により、避難所には最大4万7,000人以上が避難。湾岸部にある市原市内の石油コンビナートでは大規模な火災が10日間続いた。さらに福島第一原発事故の影響で、電力供給力の不足により、東京電力が計画停電を実施。本県では、3月15日に大気中の放射線量が過去最高値を記録し、上水道の放射性物質も乳児摂取制限値を一時超えた。農産物の出荷制限や観光客の激減など、県民生活にも深刻な打撃を与えたなど、未曾有の大災害は、千葉県にも大きな爪痕を残した。

2011
(平成23)年

天皇皇后両陛下が被災地のお見舞いに御来県



天皇皇后両陛下が、旭市の避難所や津波で大きな被害を受けた地区を訪問 / 千葉県

東日本大震災から約1カ月後の2011(平成23)年4月14日、天皇皇后両陛下が被災地のお見舞いに御来県。旭市の避難所や津波被害が大きかった地区を訪問され、時には被災者の手を握りながら、一人ひとりに温かいお言葉をかけられた。9月27日には再び御来県され、福島県で被災した企業に作業場所等を提供する東金市の会社事業所を御視察された。

2011
(平成23)年

千葉県選出として初、野田首相が就任



野田佳彦首相(中央)と各閣僚 / 朝日新聞社

2011(平成23)年、野田佳彦氏が第95代総理大臣に就任。千葉県選出として初となる首相が誕生した。野田氏は船橋市出身で、千葉県議会議員を2期務めた後、1993(平成5)年に衆議院議員初当選。国会議員5期目の2010(平成22)年に菅内閣で財務大臣を務めた。

2015
(平成27)年

日本サッカーの拠点が幕張新都心に



高円宮記念JFA夢フィールド / 千葉県

2015(平成27)年、県は日本サッカー協会と「(仮称)JFAナショナルフットボールセンター設置に向けた基本協定」を締結。相互協力の下、サッカー日本代表の活動をはじめ、競技力向上、普及、地域貢献活動など日本サッカーの拠点となる施設が県立幕張海浜公園内に設置されることとなった。同施設はその後、名称を「高円宮記念JFA夢フィールド」とし、2020(令和2)年に完成した。

2016 (平成28)年

船橋オートレース65年の歴史に幕

「北総四都市江戸紀行」が日本遺産に認定

台湾桃園市との友好交流協定締結

リオオリンピック・パラリンピックのメダリスト13人に県民栄誉賞等を授与

JR千葉駅新駅舎・エキナカが開業

香取市「佐原の山車行事」を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録

2017 (平成29)年

いちごの新品種「チーバベリー」デビュー

「加曽利貝塚」が国特別史跡に指定

成田空港、年間の航空旅客数が初めて4,000万人超

2018 (平成30)年

成田空港C滑走路(3,500m)の新設及びB滑走路の延伸(2,500m→3,500m)に合意

外環道(三郷南IC～高谷JCT)が開通

台風24号で県内に暴風

観光入込客数、5年連続過去最高を更新

落花生の新品種「Qなっつ」デビュー

市原市の「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」が国の天然記念物に指定

2019 (平成31/令和元)年

ドイツ連邦共和国デュッセルドルフ市との姉妹提携

台風15号・19号及び10月25日の大雨により千葉県内各地に甚大な被害が発生

2017
(平成29)年

いちごの新品種「チーバベリー」がデビュー



チーバベリーロゴマーク / 千葉県

2017(平成29)年、いちごの新品種「チーバベリー」の本格販売が始まった。チーバベリーは、千葉県農林総合研究センターが約8年の歳月をかけて育成し、大粒で果汁が多く、甘味と程よい酸味、鮮やかな赤色の果実が特徴。さらに、主要病害であるうどんこ病にも強い。いちご狩りや直売を中心に販売展開されている。

2018
(平成30)年

落花生の新品種「Qなっつ」がデビュー



Qなっつの紹介や販売場所等を掲載したリーフレットの表紙 / 千葉県

2018(平成30)年、落花生の新品種「Qなっつ」の本格販売が始まった。千葉県農林総合研究センターが1998(平成10)年から開発を始め育成し、はっきりとした甘みとあっさりとした食べやすい味で白いさやが特徴。栽培しやすく、収量も多い。「Qなっつ」という愛称には、アルファベットでPの次がQであることから、これまでのピーナッツを超える味という意味が込められた。

2016
(平成28)年

「佐原の山車行事」がユネスコ無形文化遺産に



ユネスコ看板付山車 / 香取市教育委員会

2016(平成28)年、国指定重要無形民俗文化財33件で構成された「山・鉾・山車行事」が、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)無形文化遺産に登録された。このなかには、千葉県の「佐原の山車行事」が含まれ、県内の国指定文化財がユネスコの世界遺産や無形文化遺産に登録されるのは初めてとなる。

2016
(平成28)年

「北総四都市江戸紀行」が日本遺産に



佐倉城跡(角馬出と桜) / 千葉県

2016(平成28)年、「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が、「日本遺産」に認定された。日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもの。城下町佐倉・門前町成田・商家町佐原・港町銚子の4都市は、利根川水運と江戸に続く街道により様々な形で江戸の暮らしや経済を支えた。

2017
(平成29)年

加曽利貝塚が県内初の特別史跡に指定



加曽利貝塚 / 千葉市立加曽利貝塚博物館

2017(平成29)年、学術上の価値が特に高く、日本文化の象徴と評価されるものに対して国が指定する「特別史跡」に、加曽利貝塚が県内で初めて指定された。貝塚が特別史跡に指定されるのは全国初のことであった。加曽利貝塚は、直径約140mのドーナツ形をした縄文中期の北貝塚と、長径約190mで馬のひづめ形をした縄文後期の南貝塚が連結し、8字形をした日本最大級の貝塚である。

2019
(令和元)年

台風・記録的大雨により甚大な被害が発生



台風15号・19号及び10月25日の大雨により千葉県内各地に甚大な被害が発生 / 千葉県

2019(令和元)年9月9日に千葉市付近に上陸し記録的な暴風雨となった房総半島台風(台風15号)、続く10月12日に竜巻と推定される突風を伴った東日本台風(台風19号)、さらに10月25日にも記録的な大雨が発生し、わずか2か月弱の間に3度の災害に見舞われた。一連の災害により、県内では、膨大な数の住宅損壊や、広範囲で長期にわたる停電と通信遮断や断水、更には河川の越水により生じた浸水、土砂災害など、これまでにない被害が発生。25人が死亡、住家被害は全壊514棟、半壊6,963棟、一部損壊89,889棟、床上浸水181棟、床下浸水617棟に上ったほか、停電が約80万軒、断水が約14万戸で発生した。農林水産業の被害額は台風被害としては過去最大級となり、県内中小企業においても大きな被害が発生するなど、産業活動にも極めて深刻な影響を及ぼした。

令和

2020 (令和2)年

チバニアンがGSSP (国際境界模式層断面とポイント)に認定

サッカー日本代表拠点「高円宮記念JFA夢フィールド」千葉市美浜区に完成

新型コロナウイルス感染症が拡大

東京2020オリンピック・パラリンピックが延期

銚子市沖が「再エネ海域利用法」に基づく洋上風力発電の促進区域に指定

主食用米の新品種「粒すけ」デビュー

犬吠埼灯台が国の重要文化財に指定

県がんセンターの新棟が開業

国際隕石学会が「火球」^{カキョウ}として目撃された隕石を「習志野隕石」として登録

2021 (令和3)年

県内の11農場で高病原性鳥インフルエンザが連続して発生

2020 (令和2)年
新しい地質時代名を「チバニアン」と命名



チバニアン^{たぶち}のゴールドenspайク / 千葉県立中央博物館

2020 (令和2)年、市原市田淵の養老川沿いに露出する地磁気逆転期の地層が国際地質科学連合により地質年代境界のGSSP (国際境界模式層断面とポイント)に認定され、それまで名前のなかった約77万4千年前~12万9千年前の時代が「チバニアン (千葉時代)」と命名された。地質年代に日本の地名が付けられたのは初めての快挙。2022 (令和4)年には、GSSPであることを示す「ゴールドenspайク」と呼ばれる金色のモニュメントが設置された。

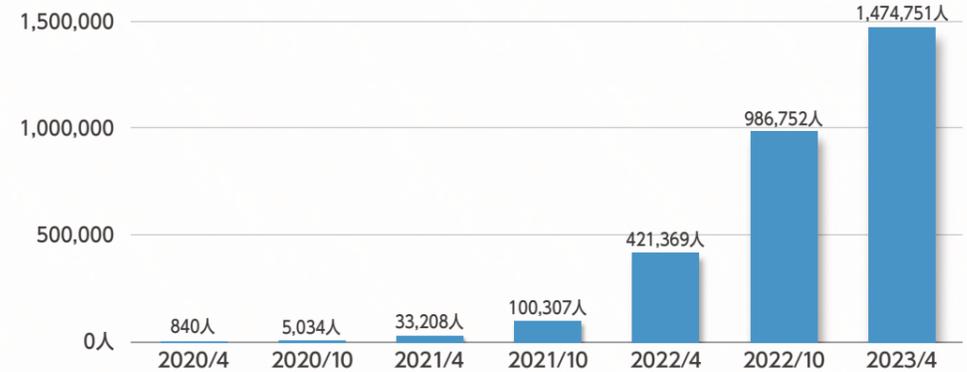
2020 (令和2)年
主食用米の新品種「粒すけ」がデビュー

県が13年かけて開発し、主食用品種としては「ふさこがね」以来14年ぶりとなる米品種「粒すけ」。「粒すけ」は、米の粒が大きいことや、ほどよい粘りと弾力がありコシヒカリと同等以上のおいしさを持つこと、和食、洋食、中華などいろいろな料理に合うオールマイティな食感を持つことなどが特徴。加えて、コシヒカリと比べて収量が多いことや、^こ茎が短くて倒れづらく、食味が同等以上、安定生産が可能といった長所も併せ持つ。2020 (令和2)年秋からは本格的な販売が開始された。



粒すけロゴマーク / 千葉県

2020 (令和2)年
新型コロナウイルス感染症が拡大



新型コロナウイルス累積感染者数 (千葉県 令和5年5月8日発表資料より)
※令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。

全世界で感染が拡大した新型コロナウイルスは、県内でも2020 (令和2)年1月に初の感染者が確認され、その後県内でも感染が拡大。長期にわたり、県民の生活や県政に大きな影響を及ぼすこととなった。

感染拡大により病床が逼迫すると、保健所体制の強化や臨時の医療施設の設置等による病床等の確保、軽症者が療養するホテルの確保、自宅療養者の支援及びワクチンの接種など医療提供体制の確保に追われることとなった。感染拡大抑制のため、政府により計3度の緊急事態宣言が発令されると、不要不急の外出やイベント開催の自粛、一部施設の使用停止、飲食店等での営業時間の短縮や酒類提供の制限等を要請。

加えて、多くの小中高特別支援学校では2020 (令和2)年3月から5月末まで臨時休校の措置がとられることとなった。また、感染拡大により県内各種イベント等が相次いで延期・中止。2020 (令和2)年に県内でも実施予定であった東京オリンピック・パラリンピックは翌年へ延期、同年開催予定だった「ちばアクアラインマラソン2020」や、例年開催されている県内各地の祭り、花火大会等多くの行事・イベントが開催中止となったほか、県内全ての海水浴場が閉鎖。中学・高校の運動部活動では全国大会 (全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会及び全国高等学校野球選手権大会) が中止となり、代替となる県大会 (中学校3

競技、高校15競技) が開催されることとなった。

一方で、感染症の影響を受けた事業者等への支援や、経済活動維持のための取組を実施。飲食店における感染防止対策の徹底と経済活動の両立のため、高いレベルでの対策を講じた飲食店に対する県独自の認証事業の実施のほか、営業時間短縮等に協力した飲食店等事業者に対して協力金を支給。売上が減少した中小企業等への支援金制度を創設し、落ち込みが長期化する観光需要に対しては感染状況に応じながら、宿泊者優待や旅行・宿泊商品の割引等のキャンペーン等を行うなど、各種事業により感染防止対策と経済活動の両立を図った。

2020 (令和2)年
鳥インフルエンザ発生458万羽が殺処分に



鳥インフルエンザウイルスが確認された養鶏場 / 朝日新聞社

2020 (令和2)年末から2021 (令和3)年にかけて、大規模農場を含めた11農場連続で高病原性鳥インフルエンザが発生。自衛隊等の協力も得て延べ66,575人で防疫措置を行い、県内の採卵鶏の約36%、約458万羽が殺処分された。県では発生予防に向け飼養衛生管理基準の遵守指導等に努め、万が一、発生した場合に迅速に対応できる防疫体制強化に取り組んでいる。

令和

2021 (令和3)年

くまがいとしひと
熊谷俊人 千葉県知事就任

千葉ジェッツBリーグ優勝

東京2020オリンピック・パラリンピック開催

県 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

あきみつき
梨の新品種「秋満月」デビュー

2022 (令和4)年

ウクライナ避難民の受け入れ

ささき りょうき
千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希が完全試合達成

ROCK IN JAPAN FESTIVALが千葉県で初開催

「ちばアクアラインマラソン」が4年ぶりに開催

2023 (令和5)年

まくはりとよすな
幕張豊砂駅の開業(県内で25年ぶりのJR新駅開業)

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行

千葉県誕生150周年

2021 (令和3)年
千葉ジェッツが
Bリーグ初優勝



©CHIBAJETS FUNABASHI / PHOTO:Keisuke Aoyagi

2021(令和3)年、千葉ジェッツがバスケットボール男子B1リーグの王座を争う「Bリーグチャンピオンシップ2020-21」の決勝で宇都宮ブレックスを下し、悲願の初優勝を果たした。千葉ジェッツは、2017-18シーズン、2018-19シーズン共に準優勝しており、3度目の挑戦での初栄冠となった。

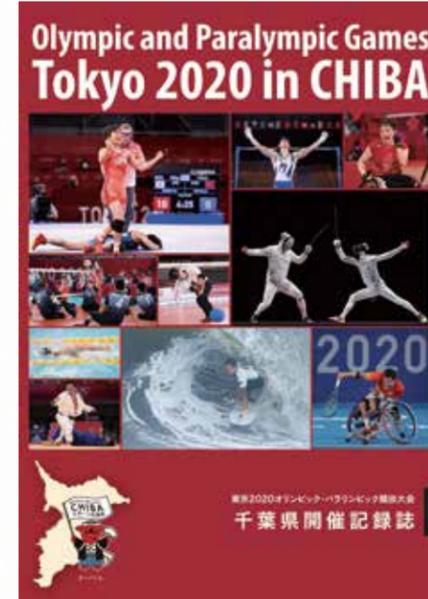
2022 (令和4)年
「ROCK IN JAPAN FES.」
が県内で初開催



ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2022 / rockin'on JAPAN

2022(令和4)年、2019(令和元)年まで茨城県ひたちなか市で開催されていた国内最大の夏フェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」が、初めて千葉市蘇我スポーツ公園で開催された。千葉県内では、2001(平成13)年から「SUMMER SONIC」が開催されており、「国内三大フェス」と称される音楽イベントのうち2つが千葉県で開催されることとなった。

2021 (令和3)年
東京2020オリンピック・パラリンピックが開催



東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
千葉県開催記録誌 / 千葉県



東京2020 オリンピック・パラリンピック聖火リレー
千葉県実施記録誌 / 千葉県



柏市の体験型イベントに参加するイギリス
車いすテニス選手(2019) / 柏市

2021(令和3)年、東京2020オリンピック・パラリンピックが1年の延期を経て開幕。県内では、幕張メッセでオリンピック3競技(フェンシング、テコンドー、レスリング)とパラリンピック4競技(ゴールボール、シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング)、釣ヶ崎海岸(一宮町)でオリンピック史上初となるサーフィン競技の計8競技を実施。新型コロナウイルス感染症の影響により、いずれも無観客での開催となった。県及び15市では計14か国の事前キャンプを受け入れ、選手団の歓迎式やオンラインを活用した交流等が行われた。また、県内では大会の開催決定以来、企業や団体、行政等が一体となって、国際交流の推進、外国人受入環境の整備、バリアフリーの推進、パラスポーツの振興、ボランティア活動への参加促進など、開催に向けて多様な取組を展開。さらに、サーフィン競技初の開催地となったことを活かした地域づくり、パラリンピックを契機とした障害のある人の社会参加の促進など、新しい動きも生まれた。



オリンピック3競技 パラリンピック4競技の会場となった
幕張メッセ / 千葉県



サーフィン競技の会場となった釣ヶ崎海岸 / 千葉県



公開練習を見学した中学生とオランダリレー代表チーム(2019) / 千葉県